

教 育

教育成果の公開 —卒業研究一覧—

本誌は、教育成果を公開する観点から、学部内での教育活動のうち学術研究に深く関連する部分、すなわち、卒業論文にかかわる情報をここに掲載する。なお、国際関係学部では、優秀な学生を表彰し今後の活躍を期するため、2001年度に学部長賞「優秀卒業論文賞」を設立した。2022年度の審査結果も合わせて掲載する。

2022年度 国際関係学部卒業研究一覧

—国際学科—

テ ー マ

- 1 メディアに見る心霊写真の変遷 —現代の心霊写真に求められるものとは—
- 2 日本人の食事変化がもたらす影響
日米比較研究：現在の日本における同性婚の現状と課題 —カリフォルニア州のLGBTパートナーシップ制度から— Comparative Study of Japan and the U.S.: Same-Sex Marriage in Japan Today — From California's LGBT Partnership System —
- 3 なぜ説明のつかない未来の予言を信じるのか —占いとジンクスからの民俗学的分析—
- 4 『ハリー・ポッター』からみる、生い立ちと境遇が人または魔法使いに与える影響
- 5 韓国社会におけるジェンダー概念の形成と現状
- 6 岡崎市と東海オンエアから見たコンテンツ・ツーリズムの課題
- 7 漫画作品に見る現代の生霊と守護霊の思想 —フォークロレスクとオステンションに関する民俗的研究—
- 8 米国野球と黒人差別に関する研究 —ニグロリーグの検討を中心に—
- 9 すべてのアスリートが満足いく環境で競技できるようになるには
- 10 食品ロス削減に向けて ～私たちにできることは何か～
- 11 欧州で活躍する日本人選手の報道に関する比較調査 —南野拓実を例に—
- 12 アルコール天国と呼ばれた日本の居酒屋事情
- 13 ポリネシア人の起源 ～太平洋へと拡散したアジア人～
- 14 ヒトと外来種との関わりに関する考察
- 15 刺青をおしゃれとする時代が日本に訪れるか ～海外との違いから～
- 16 K-POP アイドルの反日行動 —防弾少年団を中心に—
- 17 日・英語の流行語比較 Comparison of Japanese and English buzzwords
- 18 イランが抱えるスカーフ問題の行方
- 19 スペシャルティコーヒーを扱う名古屋のカフェの特徴について
- 20 K-POP アイドルのファン文化
- 21 なぜ今日本の若者の中で「熱海へ旅行」が流行っているのか ～熱海の宿泊施設から見る～
- 22 Drug Addiction in Canada and the United States extend and apply the findings to Japanese society
- 23 フランスの移民政策 移民から考える日本への共生社会 France's Immigration Policy Immigrants' Perspective on Living in Harmony with Japan
- 24 オスカーにおけるウィル・スミスの事件を小宇宙として、異文化研究の複雑さを検証する —コメディ文化の観点から— Examining the complexity of cross-cultural studies through the microcosm of the Will Smith incident at the Oscar's: "from a Comedic Culture Perspective"
- 25 A focus on language revitalization: comparing and contrasting Manx, Uchinaaguchi and Hawaiian

- 27 日本で何故大麻を吸ってはいけないのか ～大麻とたばこの違い～
- 28 喫茶とカフェ文化が世界を変えた
- 29 「脱北者」の韓国社会への適応と課題
- 30 ストリートダンスがもたらす意味 ～教育ダンスとの関連から～
- 31 日本でまたレゲエブームが来るためには
- 32 ジャパニーズ・ウイスキーのブランド力
- 33 春日井市をインバウンドすることはできるのか？ —岐阜県高山市などのインバウンド成功施策を例として—
- 34 日本と韓国のアイドルの現状から見る違い
- 35 伝統的祭礼の継承に関する考察 —長浜曳山祭りを題材に—
- 36 聖地とパワースポットおよび死に関する場所の関連性から思案する心霊スポット考 ～定かならざる曖昧な場所～
- 37 核兵器禁止条約 —日本が不参加の理由の検証—
- 38 少年法の在り方 —少年犯罪と今後の課題—
- 39 アメリカにおける黒人差別
- 40 人権と社会秩序の関係性 ～人権と共に生きる社会に向けて～
- 41 IT 大国韓国のデジタル化社会 ～デジタル先進国の課題について～
- 42 太陽神信仰と年中行事からみる日本人にとってのアマテラス
- 43 韓国の働く女性の現状と政策
- 44 カトリック教と仏教で異なる墓と埋葬
- 45 ナチスと映画の関係性
- 46 ゲームについて
- 47 日本におけるペット販売制度の課題
- 48 『少年ジャンプにおけるヒロインの身体変化について』
- 49 SNS マーケティングツールにおける Instagram
- 50 インターネット社会における琥珀糖の変化について
- 51 東アジアにおける神獣・神使・妖怪についての比較と分析 Comparison and Analysis of Divine Beasts, Divine Messengers, and Monsters in East Asia
- 52 何故食品ロスと言われているのに新しい食材が増えるのか
- 53 三か国の言語的特徴と現代文化をオノマトペから比較する —日英韓の三か国から比較—
- 54 『死者の書』第125章の裁判の場面に見る天秤のつり合いについて
- 55 現代日本の貧困 ～子ども・若者の貧困に着目して～
- 56 米中覇権争いと日本の針路
- 57 時代による B'z の歌詞の変化
- 58 e スポーツについて ～ゲームに没頭する人としらない人の違い～
- 59 若年女性の「やせ」とファッション雑誌及びファッションモデルの関係
- 60 骸骨の聖母サンタ・ムエルテ ～聖母像と骸骨の曖昧性から考察する信仰拡大の理由～
- 61 時代の流れによるオタク文化の変遷
- 62 HIPHOP と黒人文化
- 63 差別問題の実態
- 64 自衛隊の活動と海外派遣についての研究
- 65 ネットワークビジネスと人間の心理 ～人はなぜ騙されるのか～
- 66 プロ野球の歴史とビジネス ～コロナ禍でのプロ野球の活躍～
- 67 若者の孤独感と宗教コミュニティ —学校教育を中心に

- 68 今と昔の幽霊の描き方と考え方の変化について
- 69 日本と世界の食虫文化 —世界人口と昆虫食の未来とは何か—
- 70 現代のインターネット社会に関する一考察 ～SNS上の「誹謗中傷」を手がかりに～
- 71 『「呪文」は何のためにあるのか』～ドラゴンクエストの呪文とその世界観から～
- 72 色彩から見る東西文化の違い
- 73 ファッションブランドが持つ「価値」とはどのようにして生まれるのか
- 74 大谷翔平に関する一考察
- 75 競争で戦う韓国の若者たち
- 76 デパートコスメの研究 ～なぜ高校生にもデパートコスメは支持されるのか～
- 77 日本における色彩イメージ ～男女の色分けに注目して～
- 78 日本が抱える少子高齢化の原因をオランダの性教育から学ぶ
- 79 近代日本の神社から見る戦没者慰霊 ～慰霊行事と靖国神社・護国神社の関係性～
- 80 説話の中の「見るなの禁忌」から読み解く異界と禁忌の関連性に関する民俗学的研究
- 81 政治評論家によるジェンダー差別的失言について
- 82 MMT 理論は一般国民に利益を与える事が出来るのか —日本と海外を比較して—
- 83 小水力発電所による地域社会コミュニティの活性化と課題解決
- 84 沖縄音楽とハワイアンミュージックからみる社会問題
- 85 おもてなしの国 —日本におけるサービス精神の変遷— Country of hospitality —Changes in service spirit in Japan—
- 86 イギリス王室の教育における環境 —ガヴァネスとパブリックスクール—
- 87 日英ロックの比較
- 88 日本における外国人参政権
- 89 東京ディズニーリゾートから学ぶ：長期に渡り人々を熱中させる仕組み
- 90 メジャーリーグから見るアメリカの人種差別
Making Healthy Dietary Choices in Japan: Combating the rise of American
91 dietary influences but connecting to American choices for healthy eating,
especially forms of vegetarianism for Japan
- 92 黒人差別問題についての研究 ～ストリートダンサーから見た黒人問題～
- 93 二輪車電動化に伴う諸問題 ～今後の二輪車のあり方について～
- 94 経済安全保障とは
- 95 何故人々は SNS の「炎上」に参加するのか
- 96 ディズニープリンセス映画からみる女性像の変化
- 97 Mixed Blood —「混血人」への偏見からの考察—
- 98 リーマンショックに耐え抜くには
- 99 犬食文化の現状と歴史 —犬肉が反対される原因—
- 100 総統の演説 —ナチスのプロパガンダをめぐって—
- 101 スペイン王国多言語社会の理由 —自治州語の過去から現在に至るまで—
- 102 日本における建設業の人手不足問題について
- 103 少子高齢化の日本に非正規雇用増加の怖さ
- 104 香港の民主化と北京政府の介入
- 105 魯迅を通して見る文学と政治のかかわり
- 106 多様な知性と現代社会における学習塾の可能性
- 107 少子化問題の原因と課題 ～新たな要因と解決策～

- 108 国際社会におけるテニスの在り方
- 109 キャッシュレス決済について ー日本への浸透性ー
- 110 ビートルズからロックを考える
- 111 HV から EV へのシフト変化による世界の自動車産業について
- 112 『ハリー・ポッター』に対するイギリスの宗教文化の影響について
- 113 ボディビルダーの自伝を読む
- 114 アイヌと継承問題 ーカムイと言語の世界ー
- 115 ボウリングの歴史 ー紀元前の歴史から近代の日本の歴史までー
- 116 2022年の半導体不足 ～日本の現状と課題～
- 117 難民条約における「迫害」の解釈とその展開
- 118 プライダル産業の市場拡大規模
- 119 ストリートチルドレンの研究 ～セブの路上で暮らす子供たち～

ー 国際関係学科 ー

テ ー マ

- 120 ブレグジットの社会背景 ～2016年の国民投票を中心とした分析～

国際関係学部長賞「優秀卒業論文賞」審査結果 (2022年度)

2022年度 国際関係学部長賞優秀卒業論文賞選考要領

1. 賞の種類

- (1) 最優秀論文賞：原則として1編
- (2) 優秀論文賞：原則として2編まで。ただし、同賞に相応しい論文が多数出た場合はその限りではない。
：選考委員会が授賞対象および授賞数を決定する。

2. 審査委員会、事務局

審査委員会、事務局は下記のメンバーで構成する。

(1) 学部審査委員長

学部長

(2) 学部審査副委員長

副学部長、学部長補佐

(3) 審査委員

国際学科 3名

(4) 事務局

学部事務室

3. エントリー

- (1) 教員はゼミ所属学生の卒業論文を推薦できる。ただし、当該学生に卒論の要約(以下、サマリーと表記)をA4用紙1枚(1000字程度)にまとめるよう指導し、事務局に提出させなければならない。
- (2) 学生は指導教員に相談する必要なく、自分の意思で応募できる。ただし、応募に際しては、サマリーをA4用紙1枚(1000字程度)にまとめて、事務局に提出しなければならない。

4. 審査委員会の編成、第一次・第二次審査

- (1) 審査委員は毎年12月の主任会議、教授会の議を経て決定される。
- (2) 事務局は卒業論文提出締め切り後、審査委員に審査依頼を行う。
- (3) 審査委員が止むを得ない事情により審査に参加できない場合、速やかに学部審査委員長と副委員長に報告し、判断を仰ぐ事とする。以降の措置については三者に一任されるものとする。
- (4) 審査委員は、原則としてエントリーされた全ての学生の審査を担当する。論文を読んだ結果を総合的に判定し、自らが審査したすべての論文に対して順位付けを行い、100点満点で採点(採点基準は(5)の通り)、各論文に対する簡単なコメント(評価すべき点、不足している点など)も書き添えた上で、所定の期日までに事務局に報告する。ただし、審査の公平を期すため、審査委

員自身が指導した学生の論文があった場合、当該論文の審査を学部審査委員長に委ねるものとする。

(5) 論文の採点基準は以下の通りとする(一次・二次審査共通)

100～90点：「学部を代表する優秀な卒業論文」として相応しいレベル

89～80点：一般的に「優秀な卒業論文」と言いきれれるレベル

79点以下：「優秀な卒業論文」と言えるか疑義が残るレベル

なお、順位との整合性が担保されている限りにおいて、点数については各審査委員に一任される。

(6) 順位付けおよび採点については各審査委員の判断が最優先され、審査委員会構成員を含む他者からの干渉を一切受けない事とする。順位付けにあたっては、審査委員自らの研究・教育経験に基づいた主観に基づき、もっとも優れた論文を1位とした後、2位以下の順位付けを行う。順位および点数については、選考委員会における審査の重要な根拠となるため、たとえ僅差であっても、同位・同点にはせず、必ず差異化をはかることとする。

以上を一次審査とする。

(7) 学部審査委員長、副委員長、3名の審査委員の計6名は最優秀論文賞及び優秀論文賞候補の論文を読んだ結果を総合的に判定し、100点満点で採点(採点基準は(5)の通り)、各論文に対する簡単なコメント(評価すべき点、不足している点など)も書き添えた上で、所定の期日までに事務局に報告する。ただし、審査の公平を期すため、学部審査委員長、副委員長の3名が指導した学生の論文があった場合は、他の審査委員に委ねるものとする。

(8) 各審査委員からの順位付け・採点結果を受け、原則、機械的に「順位の総和の平均値が最も低い論文」を最優秀論文とする。しかしながら、(7)ただし書き以降の論文が発生した場合は採点結果の平均値も算出し、これも最優秀論文確定のための判断材料とする。事務局は本作業の際に疑義が生じた場合、速やかに学部審査委員長と副委員長に報告し、本件に関する判断を三者に一任する。

(9) (8)により最優秀論文賞と優秀論文賞の候補を決定する。以上を二次審査とする。

5. 選考委員会

審査委員長は二次審査終了後、副委員長、審査委員を招集し、選考委員会を開催する。選考委員会は特段の事情無き限り、2月末に卒業判定審議のために開催される教授会と同日の開催とする。選考委員会にて確認・協議・決定する項目は以下の通り。

(1) 第一次・第二次審査の経緯確認

(2) 「最優秀論文賞」と「優秀論文賞」の決定：第二次審査の結果確認

(3) 上記以外の「優秀論文賞」の有無確認と決定：第一次審査において3位以下となった論文の中で、授賞するに相応しい論文があれば、出席者の協議・確認の後、「優秀論文賞」として選出する。授賞するに相応しい論文が無い場合、当年度の優秀論文賞は上記(2)の1編とする。この段階で選出するのは原則1編とするが、第一次審査担当者の意見も踏まえ、学部審査委員長の判断により、2編以上の選出も可能とする。

(4) 最優秀論文賞及び審査全般に関する講評担当者の決定

6. 学部内への報告

学部審査委員長は審査委員会の決定事項を取りまとめ、3月の教授会（2回開催される場合、進級判定・追加卒業判定審議のために開催される前半の教授会）で報告する。

7. 本人への通知・発表

学位記授与式当日、国際関係学部長からの表彰をもって発表とする。なお該当事者が当日欠席の場合でも、受賞の取り消しは行わない。

8. 表彰式および講評の公開

- (1) 国際関係学部長から、最優秀論文賞、優秀論文賞の報告、賞状と記念品の授与を行う。
- (2) 最優秀論文賞の講評の読み上げは、学部長が学位記授与式にて行う。ただし、当日のスケジュールに応じて、省略するか、副学部長または学部長補佐に委任することができる。
- (3) 審査全般に関する講評については、学位記授与式当日の読み上げは行わず、国際関係学部ホームページへの掲載により公開する。

以上

2022年度「優秀卒業論文賞」審査結果

◆候補論文は10件。一次審査の後、学部審査委員長、副委員長も加わる二次審査を経て、2023年2月28日の学部審査委員会において、下記のとおり最優秀論文賞1件、優秀論文賞3件が選考され、教授会において承認された。

◆審査委員会の構成員は以下の通りである。

学部審査委員長：中山 紀子(学部長)

学部審査副委員長：羽後 静子(副学部長)、財部 香枝(学部長補佐)

審査委員：平井芽阿里、羅 立新、高 英求(代理)

最優秀論文賞：

「何故人々はSNSの「炎上」に参加するのか」

優秀論文賞：

「骸骨の聖母サンタ・ムエルテ ～聖母像と骸骨の曖昧性から考察する信仰拡大の理由～」

「オスカーにおけるウィル・スミスの事件を小宇宙として、異文化研究の複雑さを検証する
—コメディ文化の観点から—

Examining the complexity of cross-cultural studies through the microcosm of the Will Smith incident at the Oscar' s: “from a Comedic Culture Perspective”

「難民条約における「迫害」の解釈とその展開」

(文責：学部事務室 園田 智子)